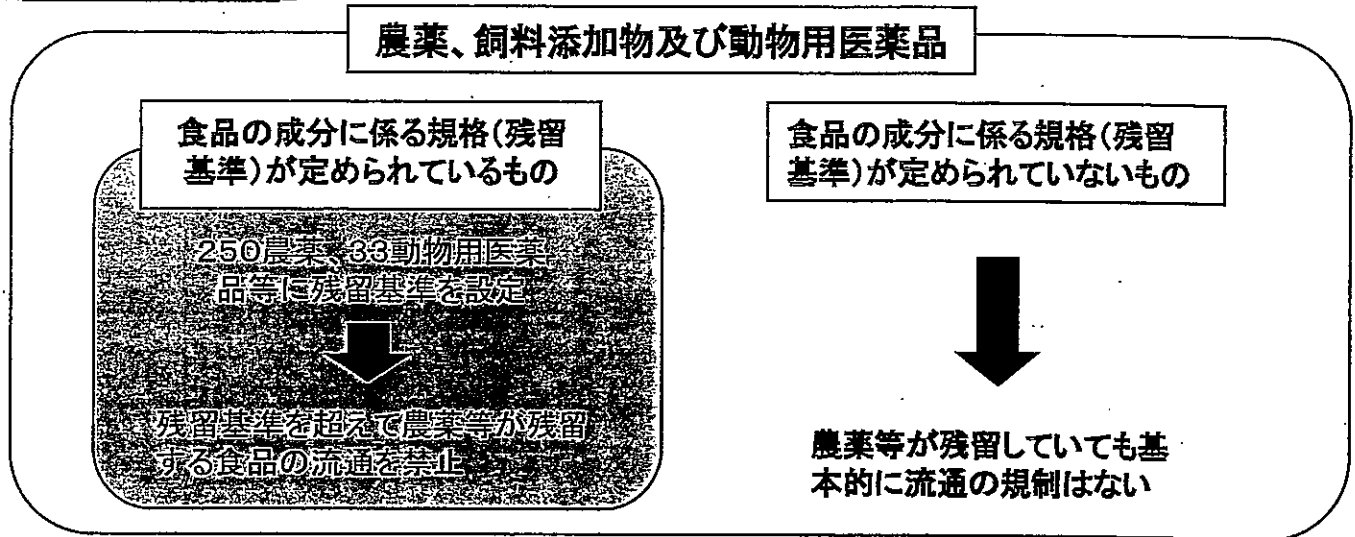


基準審査課

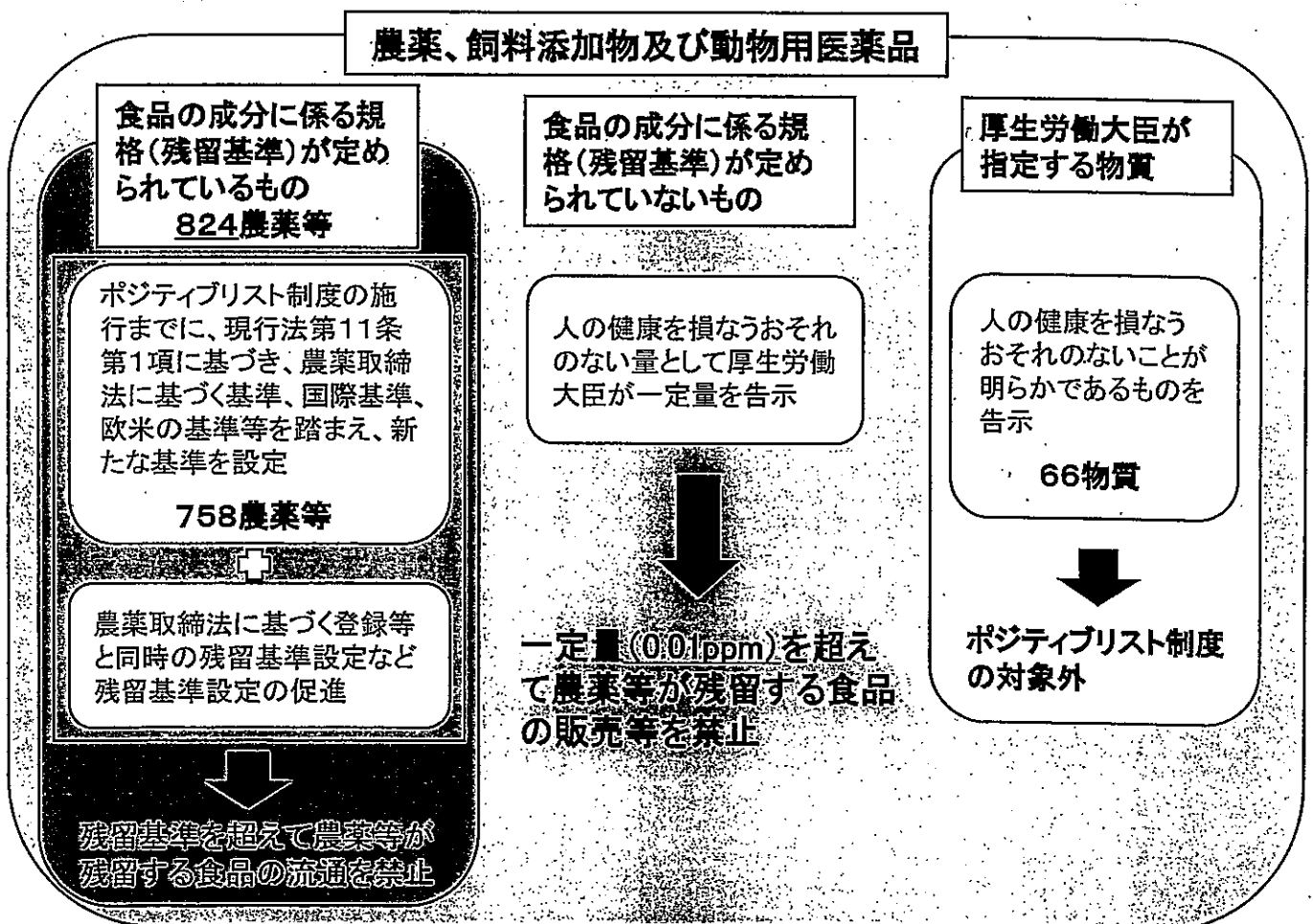
食品中に残留する農薬等に係るポジティブリスト制度

(改正食品衛生法第11条関係)

【改正前の規制】



【改正後の規制】……平成18年5月29日施行



(注1)平成17年11月29日付けで関係告示を公布。

(注2)品目数は、平成23年12月末現在。

残留基準設定農薬等一覧

(平成23年12月末現在)

表1. 平成18年度5月29日時点で残留基準の設定されていた農薬、飼料添加物及び動物用医薬品

No.	名称
1	γ-BHC(リンデンをいう。)
2	[モノ、ビス(塩化トリメチルアンモニウムメチレン)]-アルキルトルエン
3	1,1-ジクロロ-2,2-ビス(4-エチルフェニル)エタン
4	1,2-ジクロロプロパン
5	1,2-ジブromo-3-クロロプロパン
6	1,2-ジブromoエタン
7	1,3-ジクロロプロペン(D-D)
8	1-ナフタレン酢酸
9	2-(1-ナフチル)アセタミド
10	2,2-DPA
11	2,4,5-T
12	2,4-D
13	2,4-DB
14	2,6-ジイソプロピルナフタレン
15	2,6-ジフルオロ安息香酸
16	2-アセチルアミノ-5-ニトロチアゾール
17	4-アミノピリジン
18	4-クロルフェノキシ酢酸
19	5-プロピルスルホニル-1H-ベンズイミダゾール-2-アミン
20	BHC
21	DBEDC
22	DCIP
23	DDT
24	EPN
25	EPTC
26	MCPA
27	MCPB
28	N-(2-エチルヘキシル)-8,9,10-トリノルボルン-5-エン-2,3-ジカルボキシイミド
29	Sec-ブチルアミン
30	TCMTB
31	XMC
32	アイオキシニル
33	アクリナトリン
34	アクロミド
35	アザコナゾール
36	アザフェニジン
37	アザペロン
38	アザメチホス
39	アシフルオルフェン
40	アシベンゾラル-S-メチル
41	アジムスルフロン
42	アシュラム
43	アジンホスメチル
44	アスポキシリン
45	アセキノシル
46	アセタミプリド
47	アセトクロール
48	アセフェート
49	アゾキシストロピン

No.	名称
50	アゾシクロチン及びシヘキサチン
51	アトラジン
52	アニラジン
53	アニロホス
54	アバメクチン
55	アピラマイシン
56	アヅラマイシン
57	アボパルシン
58	アミトラス
59	アミトロール
60	アミノエトキシビニルグリシン
61	アミノピラリド
62	アメトリン
63	アモキシシリン
64	アラクロール
65	アラニカルブ
66	アラマイト
67	アリドクロール
68	アルジカルブ
69	アルドキシカルブ
70	アルドリン及びディルドリン(総和として。)
71	アルトレノゲスト
72	アレスリン
73	アンピシリン
74	アンブロリウム
75	イオドスルフロンメチル
76	イサゾホス
77	イソウロン
78	イソオイゲノール
79	イソキサジフェンエチル
80	イソキサチオン
81	イソキサフルトール
82	イソシアヌル酸
83	イソシンコメロン酸ニプロピル
84	イソフェンホス
85	イソプロカルブ
86	イソプロチオラン
87	イソプロツロン
88	イソメタミジウム
89	イナベンフィド
90	イブロジオン
91	イプロバリカルブ
92	イプロベンホス
93	イベルメクチン
94	イマザキン
95	イマザピックアンモニウム塩
96	イマザピル
97	イマザメタベンズメチルエステル
98	イマザモックスアンモニウム塩
99	イマザリル
100	イマゼタピルアンモニウム塩
101	イマゾスルフロン
102	イミダクロプリド

No.	名称
103	イミドカルブ
104	イミノクタジン
105	イミペンコナゾール
106	インダノファン
107	インドキサカルブ
108	ウニコナゾールP
109	エスプロカルブ
110	エタメツルフロンメチル
111	エタルフルラリン
112	エチオフェンカルブ
113	エチオン
114	エチクロゼート
115	エチプロール
116	エチプロストントロメタミン
117	エディフェンホス
118	エテホン
119	エトキサゾール
120	エトキシキン
121	エトキシスルフロソ
122	エトバベート
123	エトフェンブロックス
124	エトフメセート
125	エトプロホス
126	エトベンザニド
127	エトリジアゾール
128	エトリムホス
129	エプリノメクチン
130	エフロトマイシン
131	エボキシコナゾール
132	エマメクチン安息香酸塩
133	エリスロマイシン
134	塩化ジデシルジメチルアンモニウム
135	塩酸ホルメタネート
136	塩酸メトセルベート
137	エンドスルファン
138	エンドタール
139	エンドリン
140	エンラマイシン
141	エンロフロキサシン
142	オイゲノール
143	オキサジアゾン
144	オキサジキシル
145	オキサジクロメホン
146	オキサシリン
147	オキサベトリニル
148	オキサミル
149	オキシカルボキシソ
150	オキシクロザニド
151	オキシテトラサイクリン/クロルテトラサイクリン/テトラサイクリン(和として)
152	オキシデメソメチル
153	オキシフルオルフェソ
154	オキシベンダゾール
155	オキシソ銅

No.	名称
156	オキシリニック酸
157	オクスフェンダゾール/フェバンテル/フェンペンダゾール
158	オフロキサシン
159	オメエート
160	オラキンドックス
161	オリザリン
162	オルトジクロロベンゼン
163	オルトフェニルフェノール
164	オルピフロキサシン
165	オルメプリム
166	オレアンドマイシン
167	カスガマイシン
168	カズサホス
169	カチマイシン
170	カフェンストロール
171	カクタホール
172	カラゾロール
173	カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップ(総和として。)
174	カルバドックス(キノキサリン-2-カルボン酸を含む)
175	カルバリル
176	カルフェントラゾンエチル
177	カルプロパミド
178	カルプロフェン
179	カルベタミド
180	カルペンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル(総和として。)
181	カルボキシシン
182	カルボスルファン
183	カルボフラン
184	カンタキサンチン
185	キザロホップエチル
186	キシラジン
187	キタサマイシン
188	キナルホス
189	キノキシフェン
190	キノクラミン
191	キノメチオナート
192	キャプタン
193	キンクロラック
194	キントゼン
195	クマホス
196	クミルロン
197	クラブラン酸
198	グリカルピラミド
199	グリホサート
200	グルホシネート
201	グレスキシムメチル
202	クレトジム
203	クレンブテロール
204	クロキサシリン
205	クロキントセットメキシル
206	クロサンテル
207	クロジナホップ酸
208	クロジナホッププロパルギル

No.	名称
209	クロステボル
210	クロソリネート
211	クロチアニジン
212	クロピドール
213	クロピラリド
214	クロフェンセツト
215	クロフェンテジン
216	クロブロップ
217	クロマゾン
218	クロマフェノジド
219	クロメブロップ
220	クロラムフェニコール
221	クロランスラムメチル
222	クロリダゾン
223	クロリムロンエチル
224	クロルエトキシホス
225	クロルスルフロン
226	クロルスロン
227	クロルタールジメチル
228	クロルデン
229	クロルピリホス
230	クロルピリホスメチル
231	クロルフェナピル
232	クロルフェンソソ
233	クロルフェンピンホス
234	クロルブファム
235	クロルフルアズロン
236	クロルプロファム
237	クロルプロマジソ
238	クロルヘキシジン
239	クロルベンシド
240	クロルマジソソ
241	クロルメコート
242	クロロクスロン
243	クロロタロニル
244	クロロトルロン
245	クロロネブ
246	クロロベンジレート
247	ケトプロフェソ
248	ゲンタマイシソ
249	コリスチソ
250	酢酸イソ吉草酸タイロシソ
251	酢酸トレンボロン
252	酢酸メレンゲステロール
253	サラフロキサシソ
254	サリノマイシソ
255	酸化フェンブタズ
256	酸化プロピレン
257	シアゾファミド
258	シアナジソ
259	シアノホス
260	ジアフェンチウロン
261	ジアベリジソ

No.	名称
262	シアン化水素
263	ジウロン
264	ジエチルスチルベストロール(DES)
265	ジエトフェンカルブ
266	ジオキサチオン
267	ジカンバ
268	ジクラズリル
269	シクラニリド
270	シクロエート
271	ジクロキサシリン
272	シクロキシジム
273	ジクロシメット
274	ジクロスラム
275	シクロスルフアムロン
276	ジクロトホス
277	ジクロフェンチオン
278	ジクロフルアニド
279	シクロプロトリン
280	ジクロベニル
281	ジクロホップメチル
282	ジクロメジン
283	ジクロラン
284	ジクロルブロッブ
285	ジクロルボス及びナレド(総和として。)
286	ジクロルミド
287	ジクロン
288	ジクワット
289	ジコホール
290	ジシクラニル
291	ジスルホトン
292	ジチアノン
293	ジチオカルバメート
294	ジチオピル
295	ジニトルミド
296	シニドンエチル
297	ジノカップ
298	シノスルフロソ
299	ジノセブ
300	ジノテフラン
301	ジノテルブ
302	シハロトリン
303	シハロホップブチル
304	ジヒドロストレプトマイシン/ストレプトマイシン(和として)
305	ジフェナミド
306	ジフェニル
307	ジフェニルアミン
308	ジフェノコナゾール
309	ジフェンゾコート
310	ジブチルサクシネート
311	ジブチルヒドロキシトルエン
312	シフルトリン
313	シフルフェナミド
314	シフルフェニカン

No.	名称
315	ジフルフェンゾピル
316	ジフルベンズロン
317	ジフロキサシン
318	シブロコナゾール
319	シブロジニル
320	シベルメトリン
321	ジベレリン
322	脂肪族アルコールエトキシレート
323	シマジン
324	ジミナゼン
325	シメコナゾール
326	ジメタメトリン
327	ジメチピン
328	ジメチリモール
329	ジメチルピンホス
330	ジメテナミド
331	ジメエート
332	ジメモルフ
333	ジメリダゾール
334	シメトリン
335	ジメビベレート
336	シモキサニル
337	臭素(臭化メチル)
338	ジョサマイシン
339	シラフルオフェン
340	シロマジン
341	シンメチリン
342	スピノサド
343	スピラマイシン
344	スピロキサミン
345	スピロジクロフェン
346	スピロメシフェン
347	スペクチノマイシン
348	スルファエトキシピリダジン
349	スルファキノキサリン
350	スルファグアニジン
351	スルファクロルピリダジン
352	スルファジアジン
353	スルファジミジン
354	スルファジメトキシシン
355	スルファセタミド
356	スルファチアゾール
357	スルファドキシシン
358	スルファトロキサゾール
359	スルファニトラン
360	スルファニルアミド
361	スルファピリジン
362	スルファプロモメタジンナトリウム
363	スルファベンズアミド
364	スルファメトキサゾール
365	スルファメトキシピリダジン
366	スルファメラジン
367	スルファモイルダブソン

No.	名称
368	スルファモノトキシシ
369	スルフイソゾール
370	スルフェントラゾン
371	スルプロホス
372	スルホスルフロ
373	セデカマイシ
374	セトキシジ
375	セファセトリ
376	セファゾリ
377	セファピリ
378	セファレキシ
379	セファロニウ
380	セフォペラソ
381	セフキノ
382	セフチオフル
383	セフロキシ
384	ゼラノール
385	センデュラマイシ
386	ゾキサミド
387	ターバシル
388	ダイアジノ
389	ダイアレート
390	ダイムロン
391	タイロシ
392	ダノメット、メタム及びメチルイソチオシアネート(総和として。)
393	ダノフロキサシ
394	ダミノジ
395	チアクロプリ
396	チアジニ
397	チアゾピ
398	チアベンダゾール
399	チアムリ
400	チアメトキサ
401	チアンフェニコール
402	チオジカルブ及びメソミル(総和として。)
403	チオプロニ
404	チオベンカルブ
405	チオメト
406	チジアズロ
407	チフェンスルフロ
408	チフェンスルフロメチ
409	チフルザミド
410	チルミコシ
411	ツラスロマイシ
412	デキサメタゾ
413	テクナゼ
414	テクロフタラ
415	デコキネート
416	デストマイシ
417	デスメディファ
418	テトラクロルピホス
419	テトラコナゾール
420	テトラジホ

No.	名称
421	テニルクロール
422	テブコナゾール
423	テブチウロン
424	テブフェノジド
425	テブフェンピラド
426	テブラロキシジム
427	テフルトリン
428	テフルベンズロン
429	デメトン-S-メチル
430	デメホス
431	デルタメトリン及びトラロメトリン(総和として。)
432	テルデカマイシン
433	テルブチラジン
434	テルブトリン
435	テルブホス
436	テレフタル酸銅
437	ドキシサイクリン
438	ドジン
439	ドラメクテン
440	トラルコキシジム
441	トリアジメノール
442	トリアジメホン
443	トリアスルフロン
444	トリアゾホス
445	トリアレート
446	トリクラベンダゾール
447	トリクラミド
448	トリクロピル
449	トリクロルホン
450	トリクロロ酢酸ナトリウム塩
451	トリシクラゾール
452	トリチコナゾール
453	トリデモルフ
454	トリネキサパックエチル
455	トリブホス
456	トリフルスルフロンメチル
457	トリフルミゾール
458	トリフルムロン
459	トリフルラリン
460	トリフロキシストロピン
461	トリフロキシスルフロン
462	トリフロムサラン
463	トリベヌロンメチル
464	トリベレナミン
465	トリホリン
466	トリメトプリム
467	トリルフルアニド
468	トルクロホスメチル
469	トルトラズリル
470	トルフェナム酸
471	トルフェンピラド
472	ナイカルバジン
473	ナナフロシン

No.	名称
474	ナフシリン
475	ナプタラム
476	ナフトロホス
477	ナプロアニリド
478	ナプロパミド
479	鉛
480	ナラシン
481	ナリジクス酸
482	二塩化エチレン
483	ニコスルフロソ
484	ニコチン
485	二臭化エチレン
486	ニタルソソ
487	ニテンピラム
488	ニトラピリン
489	ニトロキシニル
490	ニトロタールイソプロピル
491	ニトロフラン類
492	ニフルステレン酸ナトリウム
493	ネオマイシン
494	ネクイネート
495	ノシヘブタイド
496	ノバルソソ
497	ノボピオシン
498	ノルジェストメット
499	ノルフルラソソ
500	ノルフロキサシン
501	バージニアマイシン
502	バーバン
503	バクイノレート
504	バクイロプリム
505	バクロブトラゾール
506	バシトラシン
507	バミドチオン
508	パラコート
509	パラチオン
510	パラチオンメチル
511	パリダマイシン
512	バルネムリン
513	ハルフェンプロックス
514	パルベンダゾール
515	ハロキシホップ
516	ハロクソソ
517	ハロスルフロソメチル
518	ハロフジソソ
519	パロモマイシン
520	ピアラホス
521	ピオレスメリン
522	ピクロラム
523	ピコザマイシン
524	ピコリナフェソ
525	ビスピリバックナトリウム塩
526	ヒ素

No.	名称
527	ピチオノール
528	ピテルタノール
529	ピドラメチルノン
530	ヒドロキシニルフェニル硫酸銅
531	ヒドロコルチゾン
532	ピノキサデン
533	ピフェナゼート
534	ピフェノックス
535	ピフェントリン
536	ピペラジン
537	ピペロニルブトキシド
538	ピペロホス
539	ヒメキサゾール
540	ピメロジン
541	ピラクロストロピン
542	ピラクロホス
543	ピラゾキシフェン
544	ピラゾスルフロリエチル
545	ピラゾホス
546	ピラゾリネート
547	ピラフルフェンエチル
548	ピランテル
549	ピリダフェンチオン
550	ピリダベン
551	ピリダリル
552	ピリチオバックナトリウム塩
553	ピリデート
554	ピリフェノックス
555	ピリフタリド
556	ピリプチカルブ
557	ピリプロキシフェン
558	ピリミカルブ
559	ピリミジフェン
560	ピリミノバックメチル
561	ピリミホスメチル
562	ピリメタニル
563	ピリメタミン
564	ピルリマイシン
565	ピレトリン
566	ピロキロン
567	ピンクロソリン
568	ピンドン
569	ファミフル
570	ファミキサドン
571	フィプロニル
572	フェナミホス
573	フェナリモル
574	フェニトロチオン
575	フェノキサニル
576	フェノキサプロップエチル
577	フェノキシカルブ
578	フェノキシメチルペニシリン
579	フェノチオカルブ

No.	名称
580	フェノリン
581	フェノブカルブ
582	フェノプロップ
583	フェリムゾン
584	フェンアミドン
585	フェンクロルホス
586	フェンスルホチオン
587	フェンチオン
588	フェンチン
589	フェントエート
590	フェントラザミド
591	フェンバレレート
592	フェンピロキシメート
593	フェンブコナゾール
594	フェンプロスタレン
595	フェンプロパトリン
596	フェンプロピモルフ
597	フェンヘキサミド
598	フェンメディファム
599	フサライド
600	ブタクロール
601	ブタフェナシル
602	ブタミホス
603	ブチルヒドロキシアニソール
604	ブチレート
605	フッ化スルフリル
606	ブトロキシジム
607	ブピリメート
608	ブプロフェジン
609	フマル酸オキシポコナゾール
610	ブラザスルフロン
611	ブラジクアンテル
612	ブラチオカルブ
613	ブラボフォスフォリポール
614	ブラムプロップメチル
615	ブラメピル
616	プリフィニウム
617	プリミスルフロンメチル
618	プリラゾール
619	フルアクリピリム
620	フルアジナム
621	フルアジホップ
622	フルアズロン
623	フルオメツロン
624	フルオルイミド
625	フルカルバジンナトリウム塩
626	フルキンコナゾール
627	フルジオキソニル
628	フルシトリネート
629	フルシラゾール
630	フルスルフアミド
631	フルチアセツメチル
632	フルトラニル

No.	名称
633	フルトリアホール
634	フルニキシソ
635	フルバリネート
636	フルフェナセット
637	フルフェノクスロン
638	フルフェンピルエチル
639	フルプロパネート
640	フルベンダゾール
641	フルミオキサジン
642	フルミクロラックペンチル
643	フルメキン
644	フルメツラム
645	フルメトリン
646	フルリドン
647	フルロキシピル
648	プレチラクロール
649	プレドニゾロン
650	プロクロラズ
651	プロシミドン
652	プロスルフロソ
653	プロチオホス
654	プロチゾラム
655	プロディファコウム
656	プロパキサホップ
657	プロバクロール
658	プロバジン
659	プロパニル
660	プロパホス
661	プロパモカルブ
662	プロパルギット
663	プロピコナゾール
664	プロピザミド
665	プロヒドロジャスモン
666	プロファム
667	プロフェノホス
668	プロヘキサジソソカルシウム塩
669	プロベタンホス
670	プロベナゾール
671	プロボキシカルバソソ
672	プロボキスル
673	プロマシル
674	プロムフェノホス
675	プロメトリン
676	プロモキシニル
677	プロモクロロメタン
678	プロモブチド
679	プロモプロピレート
680	プロモホス
681	プロモホスエチル
682	フロラスラム
683	フロルフェニコール
684	ヘキサクロロベンゼソ
685	ヘキサコナゾール

No.	名称
686	ヘキサジノン
687	ヘキサフルムロン
688	ヘキシチアゾックス
689	ベダプロフェン
690	ベタメタゾン
691	ベナラキシル
692	ペノキサコール
693	ペノキススラム
694	ヘプタクロル
695	ペブレート
696	ペルメトリン
697	ペンコナゾール
698	ペンシクロン
699	ベンジルアデニン(ベンジルアミノプリンをいう。)
700	ベンジルペニシリン
701	ベンスリド
702	ベンスルフロメチル
703	ベンゾカイン
704	ベンゾピシクロン
705	ベンゾフェナップ
706	ベンダイオカルブ
707	ペンタクロロフェノール
708	ペンタゾン
709	ペンディメタリン
710	ペントキサゾン
711	ベンフラカルブ
712	ベンフルラリン
713	ベンフレセート
714	ホキシム
715	ホサロン
716	ボスカリド
717	ホスチアゼート
718	ホスファミドン
719	ホスホマイシン
720	ホスメット
721	ホセチル
722	ホメサフェン
723	ホラムスルフロン
724	ポリオキシシン
725	ポリミキシシンB
726	ホルクロルフェニユロン
727	ホルペット
728	ホルモチオン
729	ホレート
730	マデュラマイシン
731	マホブラジン
732	マラチオン
733	マルボフロキサシン
734	マレイン酸ヒドラジド
735	ミクロブタニル
736	ミルネブ
737	ミルベメクチン
738	ミロキサシン

No.	名称
739	ミロサマイシン
740	メカルバム
741	メコプロップ
742	メシリナム
743	メソルスフロンメチル
744	メノトリオン
745	メタアルデヒド
746	メタクリホス
747	メタゾール
748	メタベンズチアズロン
749	メタミドホス
750	メタミトロン
751	メタラキシル及びメフェノキサム(総和として。)
752	メチオカルブ
753	メチダチオン
754	メチルブレドニゾロン
755	メチルベンゾクエート
756	メキシクロール
757	メキシフェノジド
758	メクロプラミド
759	メスラム
760	メスルスフロンメチル
761	メブレン
762	メミノストロピン
763	メラクロール
764	メトリブジン
765	メロニダゾール
766	メパニピリム
767	メピコートクロリド
768	メピンホス
769	メフェナセツト
770	メフェンピルジエチル
771	メプロニル
772	メベンダゾール
773	メロキシカム
774	メンプトン
775	モキシデクチン
776	モネンシン
777	モノクロトホス
778	モノリニューロン
779	モランテル
780	モリネート
781	ライドロマイシン
782	ラクトパミン
783	ラクトフェン
784	ラサロシド
785	ラフォキサニド
786	リニューロン
787	リファキシミン
788	リムルスフロン
789	硫化カルボニル
790	リン化水素
791	リンコマイシン

No.	名称
792	ルフェヌロン
793	レスメトリン
794	レナシル
795	レバミゾール
796	ロキササルゾン
797	ロニダゾール
798	ロベニジン
799	ワルファリン

※No.491 ニトロフラン類:平成19年5月31日付けでニトロフラゾン、ニトロフラントイン、フラゾリトン、

※No.57 アボパルシン:平成20年4月26日付けで基準値を削除

※No.286 ジクロルミド:平成21年6月4日付けで基準値を削除

※No.116 エチプロストントロメタミン:平成22年1月18日付けで基準値を削除

※No.416 デストマイシンA:平成22年4月6日付けで基準値を削除

※No.432 テルデカマイシン:平成22年4月6日付けで基準値を削除

※No.519 パロモマイシン:平成22年4月6日付けで基準値を削除

※No.787 リファキシミン:平成22年4月6日付けで基準値を削除

※No.214 クロフェンセット:平成22年11月9日付けで基準値を削除

※No.785 ラフォキサニド:平成22年11月9日付けで基準値を削除

※No.154 オキシベンダゾール:平成23年2月16日付けで基準値を削除

※No.224 クロルエトキシホス:平成23年2月16日付けで基準値を削除

※No.772 メベンダゾール:平成23年12月27日付けで基準値を削除

表2. 平成18年度5月30日以降、新規に残留基準が設定された農薬、飼料添加物及び動物用医薬品

No.	名称
1	マラカイトグリーン
2	オリサストロピン
3	フロニカミド
4	メコナゾール
5	フルベンジアミド
6	ベンチアバリカルブイソプロピル
7	シフルメトフェン
8	ピラクロニル
9	フルオピコリド
10	アミスルフロム
11	オキサジアルギル
12	ベンチオピラド
13	シエノピラフェン
14	グリチルリチン酸
15	フルセトスルフロム
16	マンジプロバミド
17	クロラントラニリプロール
18	メタフルミゾン
19	ヨウ化メチル
20	イミシアホス
21	ピラスルホトール
22	テフリルトリオン
23	イソチアニル
24	レピメクチン
25	プロピリスルフロム
26	スピロテトラマト
27	ピリフルキナゾン
28	ピリミスルファン
29	プロチオコナゾール
30	1-メチルシクロプロペン
31	プロピリスルフロム
32	アセトアミノフェン
33	スピネトラム
34	モネバンテル

国際的に安全性が確認され、かつ汎用されている
添加物の取扱いについて

1) 国際汎用添加物（香料を除く） . . . 【別紙1】

- 平成14年当時、①国際的に安全性が確認され、かつ、②米国及びEU諸国等で汎用されている食品添加物(香料を除く)に該当し、国際的に汎用されている46品目(β-カロテンが対象より除外され、現在は45品目)(以下、「国際汎用添加物」)について、順次、指定の作業を進めており、現在、15品目が未指定である。
- 国際汎用添加物の指定の手続きは、通常の添加物同様、食品安全委員会での食品健康影響評価及び薬事・食品衛生審議会での規格基準等の審議を経て、告示により厚生労働大臣が指定する必要がある。
- また、平成23年4月の閣議決定において、国際汎用添加物の指定手続の簡素化・迅速化についての決定がなされている。

2) 国際汎用香料 . . . 【別紙2】

- 平成14年当時、国際汎用添加物と同様に①国際的に安全性が確認され、かつ、②米国及びEU諸国等で汎用されている食品添加物(香料)に該当し、国際的に汎用されている香料54品目(以下、「国際汎用香料」)について、順次、指定の作業を進めており、現在、9品目が未指定である。

【別紙1】 国際汎用添加物の現在の指定等の状況

① 指定済品目 (31品目)

1	亜酸化窒素	製造用剤
2~4	アルギン酸塩類 (3品目)	糊料
5	ステアリン酸カルシウム	強化剤、製造用剤
6	ナタマイシン	チーズの表面処理剤
7	ヒドロキシプロピルセルロース	製造用剤
8	L-アスコルビン酸カルシウム	酸化防止剤
9	ケイ酸カルシウム	固結防止剤
10	ポリソルベート 20	乳化剤
11	ポリソルベート 60	乳化剤
12	ポリソルベート 65	乳化剤
13	ポリソルベート 80	乳化剤
14	水酸化マグネシウム	食品製造用
15~25	加工デンプン (11品目)	食品製造用
26	ナイシン	保存料
27	ステアロイル乳酸ナトリウム	乳化剤
28	ソルビン酸カルシウム	保存料
29	L-グルタミン酸アンモニウム	調味料
30	ケイ酸マグネシウム	ろ過助剤
31	β -カロテン (Blackeslea triapora 由来)	着色剤

② 未指定品目 (15品目)

1	サッカリンカルシウム	甘味料
2~3	ケイ酸塩類 (2品目)	固結防止剤
4	乳酸カリウム	調味料、酸味料、 pH調整剤
5	ポリビニルピロリドン	賦形剤、安定剤
6	リン酸一水素マグネシウム (リン酸二マグネシウム)	強化剤
7	β -apo-8'-カロテナール	着色剤
8	カルミン	着色剤
9	カンタキサンチン	着色剤
10	酸性リン酸アルミニウムナトリウム	膨張剤
11	酢酸カルシウム	保存料、安定剤、 pH調整剤
12	酸化カルシウム	pH調整剤、製造用剤
13	硫酸カリウム	食塩代替品
14	クエン酸三エチル	溶剤
15	イソプロパノール	溶剤

【別紙2】 国際汎用香料の現在の指定等の状況

①指定済品目 (45品目)

1	アセトアルデヒド
2	アミルアルコール
3	イソアミルアルコール
4	イソブタノール
5	イソプロパノール
6	2-エチル-3,(5or6)-ジメチルピラジン
7	2-エチル-3-メチルピラジン
8	2,3,5,6-テトラメチルピラジン
9	2,3,5-トリメチルピラジン
10	ブタノール
11	プロパノール
12	5-メチルキノキサリン
13	イソブチルアルデヒド
14	2-メチルブタノール
15	ブチルアルデヒド
16	イソバレルアルデヒド
17	バレルアルデヒド
18	2,3-ジメチルピラジン
19	2,5-ジメチルピラジン
20	2,6-ジメチルピラジン
21	2-エチルピラジン
22	2-メチルピラジン
23	2-ペンタノール
24	2-メチルブチルアルデヒド
25	プロピオンアルデヒド
26	6-メチルキノリン
27	5,6,7,8-テトラヒドロキノキサリン
28	3-メチル-2-ブタノール
29	イソペンチルアミン
30	2-エチル-5-メチルピラジン
31	ブチルアミン
32	フェネチルアミン
33	ピペリジン
34	ピロリジン
35	2,6-ジメチルピリジン
36	5-エチル-2-メチルピリジン
37	2-(3-フェニルプロピル)ピリジン
38	2,3-ジエチル-5-メチルピラジン
39	6,7-ジヒドロ-5-メチル-5H-シクロペンタピラジン
40	1-ペンテン-3-オール
41	3-メチル-2-ブテノール
42	ピラジン
43	3-メチル-2-ブテナール

44	ピロール
45	イソキノリン

② 未指定品目 (11 品目)

1	トリメチルアミン
2	2-エチル-6-メチルピラジン
3	(3-アミノ-3-カルボキシプロピル) ジメチルスルホニウム塩化物
4	<i>trans</i> -2-メチル-2-ブテナール
5	3-エチルピリジン
6	<i>trans</i> -2-ペンテナール
7	アンモニウムイソバレレート
8	2,3-ジエチルピラジン
9	1-メチルナフタレン:

平成23年5月6日に既存添加物名簿から削除した品目

	既存添加物番号	名 称	備 考
1	011	N-アセチルグルコサミン	
2	023	アルカネット色素	
3	028	アロエベラ抽出物	
4	037	イモカロテン	
5	044	エゴノキ抽出物	
6	046	エラグ酸	
7	049	オキアミ色素	
8	052	オリゴ-N-アセチルグルコサミン	
9	054	オリゴグルコサミン	
10	061	カカオ炭末色素	
11	065	ガストリックムチン	
12	072	カニ色素	
13	094	キダチアロエ抽出物	
14	116	グリーンタフ	
15	133	クワ抽出物	
16	140	酵素処理カンゾウ	
17	141	酵素処理チャ抽出物	
18	147	酵素分解ハトムギ抽出物	
19	155	コーパル樹脂	
20	156	コバルト	
21	165	ササ色素	
22	171	サンダラック樹脂	
23	180	シコン色素	
24	193	スクレロガム	
25	197	スフィンゴ脂質	基原から「ウジの脳」を削除
26	203	セサモリン	
27	205	セスパニアガム	
28	214	レソルボース	
29	226	タンニン（抽出物）	基原から「クリの渋皮」及び「タマリンドの種皮」を削除
30	227	ダンマル樹脂	

31	231	チャ種子サポニン	
32	244	電気石	
33	249	ドクダミ抽出物	
34	258	トリアシルグリセロールリパーゼ	
35	268	ニガキ抽出物	
36	271	ニストース	
37	273	ニューコウ	
38	275	ニンニク抽出物	
39	281	パフィア抽出物	
40	288	ヒキオコシ抽出物	
41	295	ヒメマツタケ抽出物	
42	296	ピメンタ抽出物	
43	331	ヘスペレチン	
44	335	ベニノキ末色素	
45	339	ペパー抽出物	
46	348	ホウセンカ抽出物	
47	349	ホコッシ抽出物	
48	372	メチルチオアデノシン	
49	377	モウソウチク炭抽出物	
50	385	モリン	
51	386	モンタンロウ	
52	388	油煙色素	
53	389	ユーカリ葉抽出物	
54	412	レモン果皮抽出物	
55	419	ワサビ抽出物	

既存添加物の安全性見直しの状況(平成23年5月現在)

既存添加物名簿収載品目数		365
1. 安全性評価済みの品目		248
	平成8年度厚生科学研究(※1)(※2)	35
	平成11年度既存添加物の安全性評価に関する調査研究(※3)	13
	平成15年度既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究(※2)	14
	平成16年度既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究	8
	平成18年度既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究	5
	平成19年度既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究	4
	平成20年度既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究	7
	平成21年度既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究	4
	平成22年度既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究	1
	国際的な評価が終了しているもの(JECFA、FDA等)	157
2. 安全性情報を収集している品目		11
	国立医薬品食品衛生研究所の専門家からなる検討会において整理検討中のもの(※2)	3
	反復投与毒性試験及び遺伝毒性試験の実施中のもの	5
	反復投与毒性試験及び遺伝毒性試験の結果から、慢性毒性試験/発がん性試験等の追加試験を実施しているもの(※2)	3
3. 基原、製法、本質等からみて安全と考えられ、早急に検討を行う必要はない品目		106

既存添加物名簿から削除された品目数		124
	流通実態が無く削除された品目(※3)	123
	安全性に問題があるとされ削除された品目(※1)	1

※1:「アカネ色素」はその後の情報に基づき追加試験を実施し、安全性に問題があるとされ既存添加物名簿から削除された。

※2:1品目については、念のため、追加試験を実施。

※3:「氷核菌細胞質液」は流通実態がなく既存添加物名簿から削除された。

平成17年11月2日
(平成22年6月1日改訂)

妊婦への魚介類の摂食と水銀に関する注意事項

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
乳肉水産食品部会

<魚介類の有益性>

魚介類（鯨類を含む。以下同じ。）は、良質なたんぱく質や、生活習慣病の予防や脳の発育等に効果があるといわれている EPA、DHA 等の高度不飽和脂肪酸をその他の食品に比べ一般に多く含み、また、カルシウムを始めとする各種の微量栄養素の摂取源である等、健康的な食生活にとって不可欠で優れた栄養特性を有しています。

なお、魚介類を全く食べない集団では、高度不飽和脂肪酸が欠乏し、小児の知能低下や成人の心臓病のリスクが上昇することが報告されています。

<魚介類の水銀>

魚介類は自然界の食物連鎖を通じて、特定の地域等にかかわらず、微量の水銀を含有していますが、その含有量は一般に低いので健康に害を及ぼすものではありません。しかしながら、一部の魚介類については、食物連鎖を通じて、他の魚介類と比較して水銀濃度が高いものも見受けられます。

<妊婦の方々へ>

近年、魚介類を通じた水銀摂取が胎児に影響を与える可能性を懸念する報告がなされています。この胎児への影響は、例えば音を聞いた場合の反応が 1/1,000 秒以下のレベルで遅れるようになるようなもので、あるとしても将来の社会生活に支障があるような重篤なものではありません。妊娠している方又は妊娠している可能性のある方（以下「妊婦」という。）は、次の事項に注意しつつ、魚介類を摂食するよう心がけてください。

わが国における食品を通じた平均の水銀摂取量は、食品安全委員会が公表した妊婦を対象とした耐容量の 6 割程度であって、一般に胎児への影響が懸念されるような状況ではありません。

魚介類は健やかな妊娠と出産に重要である栄養等のバランスのよい食事に欠かせないものです。本注意事項は、妊婦の方々に水銀濃度が高い魚介類を食べないように要請するものではありません。また、本注意事項は胎児の保護を第一に、食品安全委員会の評価を踏まえ、魚介類の調査結果等からの試算を基に作成しました。水銀濃度が高い魚介類を偏って多量に食べることは避けて、水銀摂取量を減らすことで魚食のメリットを活かすこととの両立を期待します。

本注意事項については、いわゆる風評被害が生じることのないよう正確な御理解をよろしく
願います。

妊婦が注意すべき魚介類の種類とその摂食量（筋肉）の目安

摂食量（筋肉）の目安	魚介類
1 回約80gとして妊婦は2ヶ月に1回まで (1週間当たり10g程度)	バンドウイルカ
1 回約80gとして妊婦は2週間に1回まで (1週間当たり40g程度)	コビレゴンドウ
1 回約80gとして妊婦は週に1回まで (1週間当たり80g程度)	キンメダイ メカジキ クロマグロ メバチ (かちマグロ) エッチュウバイガイ ツチクジラ マッコウクジラ
1 回約80gとして妊婦は週に2回まで (1週間当たり160g程度)	キダイ マカジキ ユメカサゴ ミナミマグロ ヨシキリザメ イシイルカ クロムツ

(参考1) マグロの中でも、キハダ、ビンナガ、メジマグロ（クロマグロの幼魚）、ツナ缶は通常の摂食で差し支えありませんので、バランス良く摂食して下さい。

(参考2) 魚介類の消費形態ごとの一般的な重量は次のとおりです。

寿司、刺身	一貫又は一切れ当たり	15g程度
刺身	一人前当たり	80g程度
切り身	一切れ当たり	80g程度

目安の表に掲げた魚介類のうち複数の種類を食べる場合には、次のことに御留意ください。

例えば、表に「週に1回と記載されている魚介類」のうち、2種類または3種類を同じ週に食べる際には食べる量をそれぞれ2分の1または3分の1にするよう工夫しましょう。また、表に「週に1回と記載されている魚介類」及び「週に2回と記載されている魚介類」を同じ週に食べる際には、食べる量をそれぞれ2分の1にするといった工夫をしましょう。また、ある週に食べ過ぎた場合は次の週に量を減らしましょう（具体的な食べ方は、本注意事項に関するQ&Aの間12を御覧ください。）。

<子供や一般の方々へ>

今回の注意事項は胎児の健康を保護するためのものです。子供や一般の方々については、通常食べる魚介類によって、水銀による健康への悪影響が懸念されるような状況ではありません。健康的な食生活の維持にとって有益である魚介類をバランス良く摂取してください。

<正確な理解のお願い>

魚介類は一般に人の健康に有益であり、本日の妊婦への注意事項が魚介類の摂食の減少やいわゆる風評被害につながらないように正確に理解されることを期待します。

なお、今後とも科学技術の進歩にあわせて、本注意事項を見直すこととしています。

正確な御理解のために、本注意事項に関するQ&Aについても御参照をお願いします。

本注意事項については、いわゆる風評被害が生じることのないよう正確な御理解をよろしくお願いします。

食安発 0812 第 1 号
平成 23 年 8 月 12 日

各
〔 都 道 府 県 知 事
保 健 所 設 置 市 長
特 別 区 長 〕 殿

厚生労働省医薬食品局食品安全部長

おもちゃにおけるフタル酸エステルの試験法の
一部改正について

フタル酸エステルは、ポリ塩化ビニルの可塑剤として汎用されていることから、ポリ塩化ビニルを主成分とする材料についての試験法を通知していたところであるが、それ以外の材質についてもフタル酸エステルが使用されていることが判明したため、今般、「おもちゃにおけるフタル酸エステルの試験法について」（平成 22 年 9 月 6 日付け食安発 0906 第 4 号）を別添のとおり改めたので、その内容を御了知の上、関係者への周知方よろしく願います。

改正後	改正前
<p>おもちゃの可塑化された材料における6種類のフタル酸エステル試験法</p> <p>1～4 (略)</p> <p>5. 留意点</p> <p>(1)～(3) (略)</p> <p>(4) <u>テレフタル酸ビス(2-エチルヘキシル)はフタル酸ジ-n-オクチルと保持時間が近く、質量数 279 のフラグメントイオンを有するため、誤認しやすいので注意する。フタル酸ジ-n-オクチルの保持時間にピークが検出された場合は、GC/MS で SCAN モードによる測定を行い、標準溶液のマススペクトルと比較して同定する。またはテレフタル酸ビス(2-エチルヘキシル)とフタル酸ジ-n-オクチルの保持時間が異なるようにカラム温度等を変更した操作条件で測定を行う。以下に操作条件の一例を示す。</u></p> <p><u>カラム温度：50℃で1分間保持した後、毎分 20℃で昇温し、200℃に到達後毎分 10℃で昇温し、320℃に到達後 10分間保持する。</u></p> <p><u>キャリアーガス：ヘリウム又は窒素を用いる。フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)が約 15分で流出する流速に調節する。</u></p> <p>(5) <u>クロマトグラム上に妨害ピークが検出され、試験が困難な場合は、精製等の操作により、妨害ピークの原因となる化合物を取り除いた後に、GC/MSにより定性試験および定量試験を行うこと。ただし、精製等の操作における回収率、再現性等に問題がないこと</u></p>	<p>ポリ塩化ビニルを主成分とする合成樹脂製おもちゃにおける6種類のフタル酸エステル試験法</p> <p>1～4 (略)</p> <p>5. 留意点</p> <p>(1)～(3) (略)</p> <p>(新設)</p>

を確認すること。以下にゴムにおける妨害ピーク除去のための操作の一例を示す。

GC-FID 用試験溶液 1 ml を 40°C以下で減圧濃縮後、ヘキサン 2 ml を加えて溶解する。この液をあらかじめアセトン・ヘキサン混液(3 : 7) 10 ml 並びにヘキサン 10 ml をそれぞれ注入して流したアルミナミニカラムに注入する。次いでヘキサン 10 ml を流した後、アセトンで溶出して溶出液 10 ml を採取し、これを試験溶液とする。

上記の操作を行っても妨害ピークが除去できない場合には、フロリジルカラムクロマトグラフィー、ゲル浸透クロマトグラフィー (GPC) 等により妨害ピークの原因となる化合物を取り除く。

6. その他

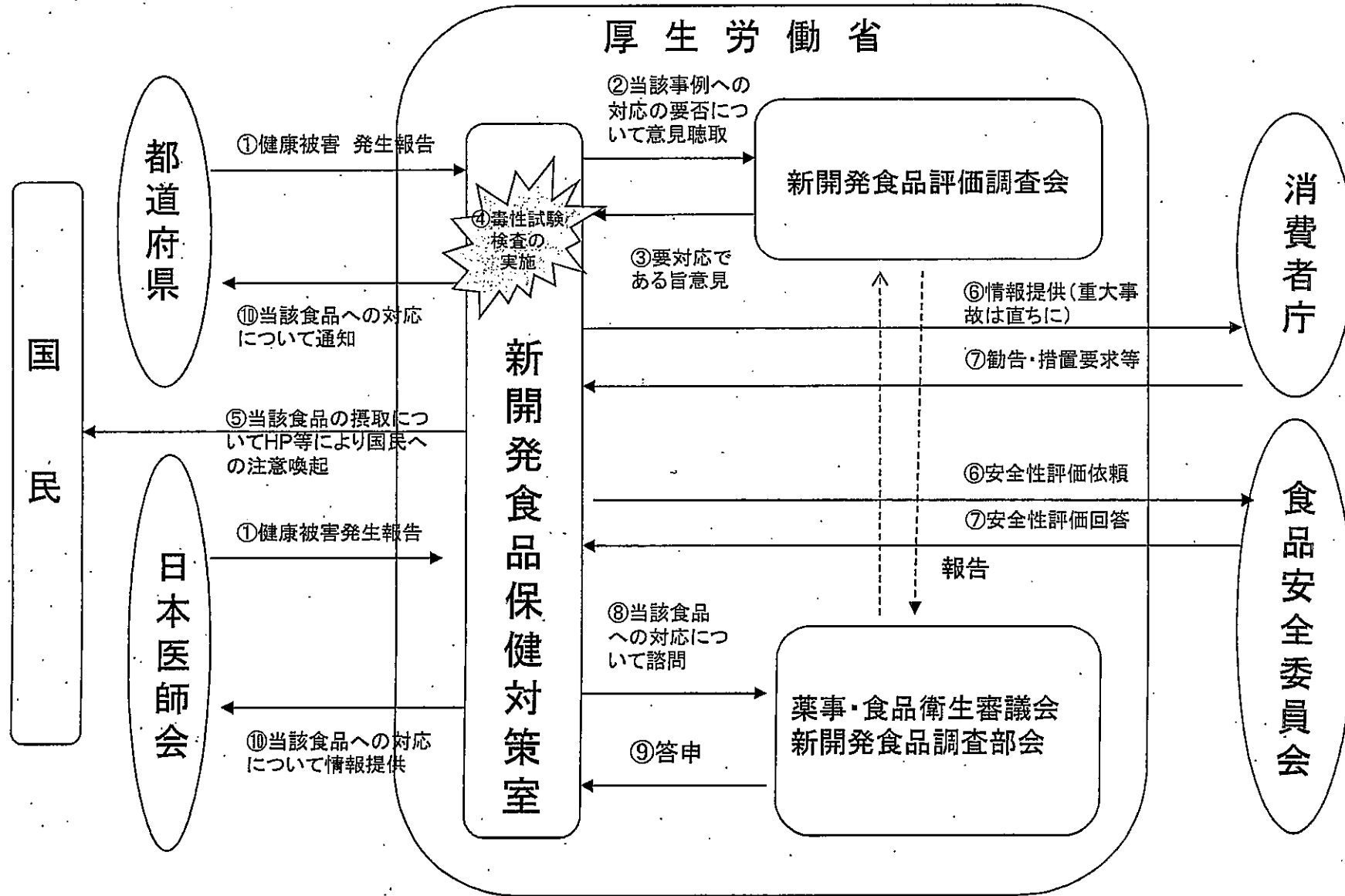
本件の試験に当たっては、当該試験法と比較して特異性、検出限界及び妨害ピークの除去等において同等又は優れていると認められる試験法を用いて差し支えない。

6. その他

本件の試験に当たっては、当該試験法と比較して特異性及び検出限界等において同等又は優れていると認められる試験法を用いて差し支えない。

新開発食品保健対策室

健康食品による健康被害事例への対応の流れ



「健康食品」の安全性確保に関する検討会報告書の概要

国民の健康に対する関心の高まり等を背景として、これまで一般に飲食に供されることのなかったものや、特殊な形態のもの等、様々な食品が「健康食品」として流通する中で、消費者により安全性の高い製品が供給されるためには、以下のような製造段階から販売段階、健康被害情報の収集・処理にわたる幅広い取組が必要

製造段階における具体的な方策

- (1) 原材料の安全性の確保 (文献検索を実施、食経験が不十分なときは毒性試験を実施)
- (2) 製造工程管理(GMP)による安全性の確保 (全工程における製造管理・品質管理)
- (3) 上記の実効性の確保 (第三者認証制度の導入)

健康被害情報の収集及び処理体制の強化

因果関係が明確でない場合等も含め、より積極的に情報を収集

- * 医師等を対象に「健康食品」の現状や過去の健康被害事例等について情報提供

消費者に対する普及啓発

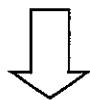
- (1) 製造事業者による適切な摂取目安量や注意喚起表示
- (2) アドバイザリースタッフの養成課程や活動のあり方について一定の水準を確保

原材料の安全性の確保

「健康食品」を含む食品の製造事業者は、製造する食品の原材料の安全性の確保に必要な措置を講ずるよう努めるべきものとされている（食品衛生法第3条）。

錠剤・カプセル状等の形態の食品については、過剰摂取による健康被害のおそれがあることから、原材料の安全性の確保のための取組は特に重要

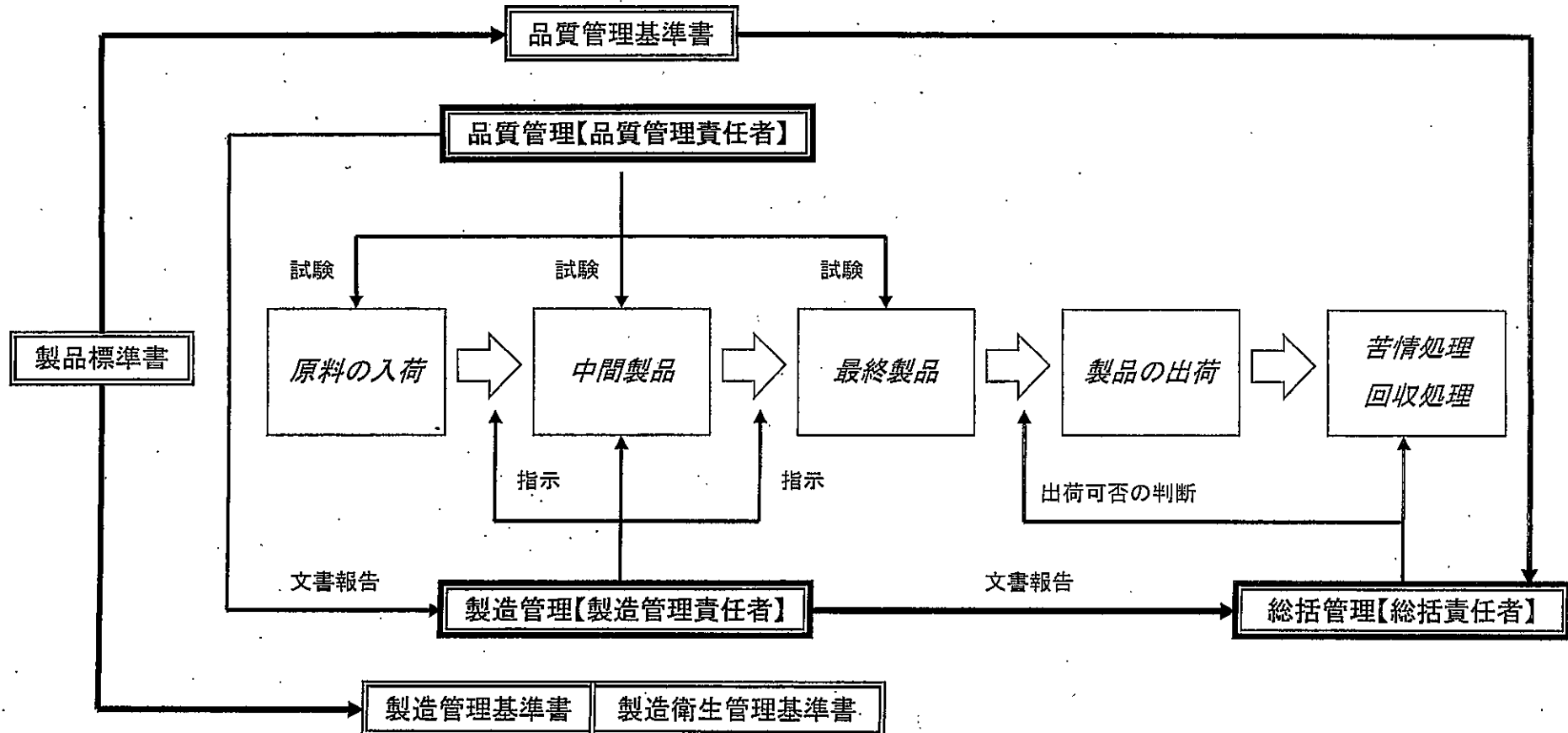
「健康食品」の製造に使用される基原原料について、文献検索で安全性、毒性情報等を収集する。



食経験に基づいて安全性を確保できない場合には、原材料等を用いて毒性試験を行う。

製造工程管理(GMP)による安全性の確保

成分の濃縮等の加工工程を経る錠剤・カプセル状等の形状の「健康食品」については、製品の均質化を図り、安全性及び信頼性を高めるために、製造者において、原材料等の受入れから最終製品の包装・出荷に至るまでの全工程における製造管理、品質管理の体制を整備すること(GMP=Good Manufacture Practice)が重要



健康食品の安全性確保に係る第三者認証の仕組み

原材料の安全性の確保や、製造工程管理(GMP)による安全性の確保において、一定の水
準に達したものとなっているかについて事業者以外の第三者によって客観的な立場から確認
がなされることが実効性の確保を図る上では極めて重要

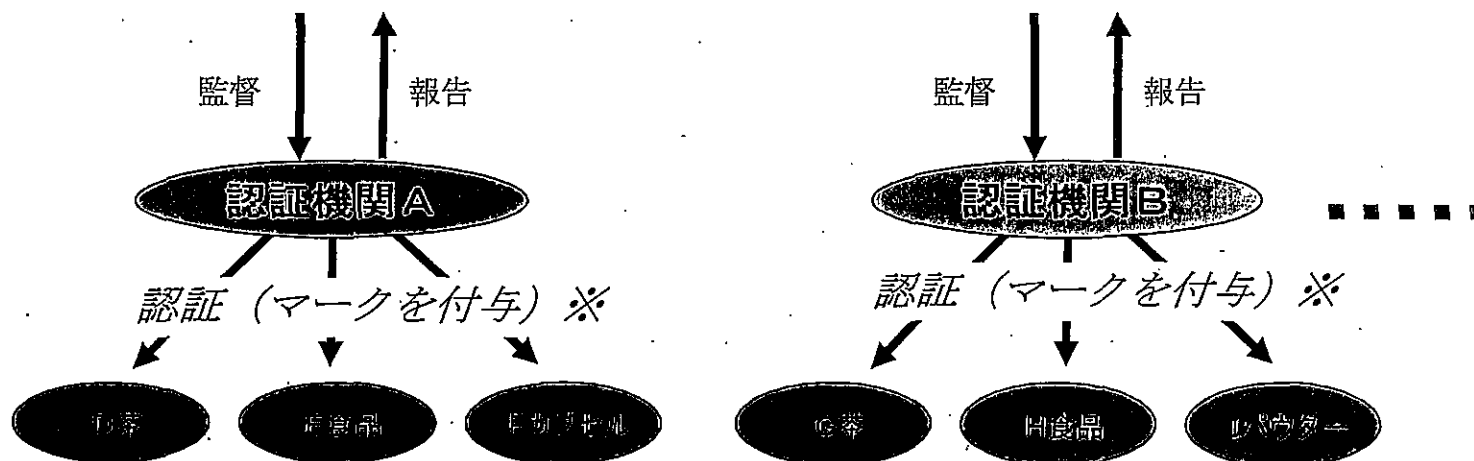
また、認証の基準や表示はできるだけ統一されたものであることが望ましい。

認証協議会

- * 学識経験者、消費者、製造事業者、認証機関等で構成
- * 「認証機関の認証基準」や「認証機関の行う認証業務の規格基準」の策定、厚生労働省指針に沿った認証が行われるよう認証機関への監督指導等を担う

厚生労働省

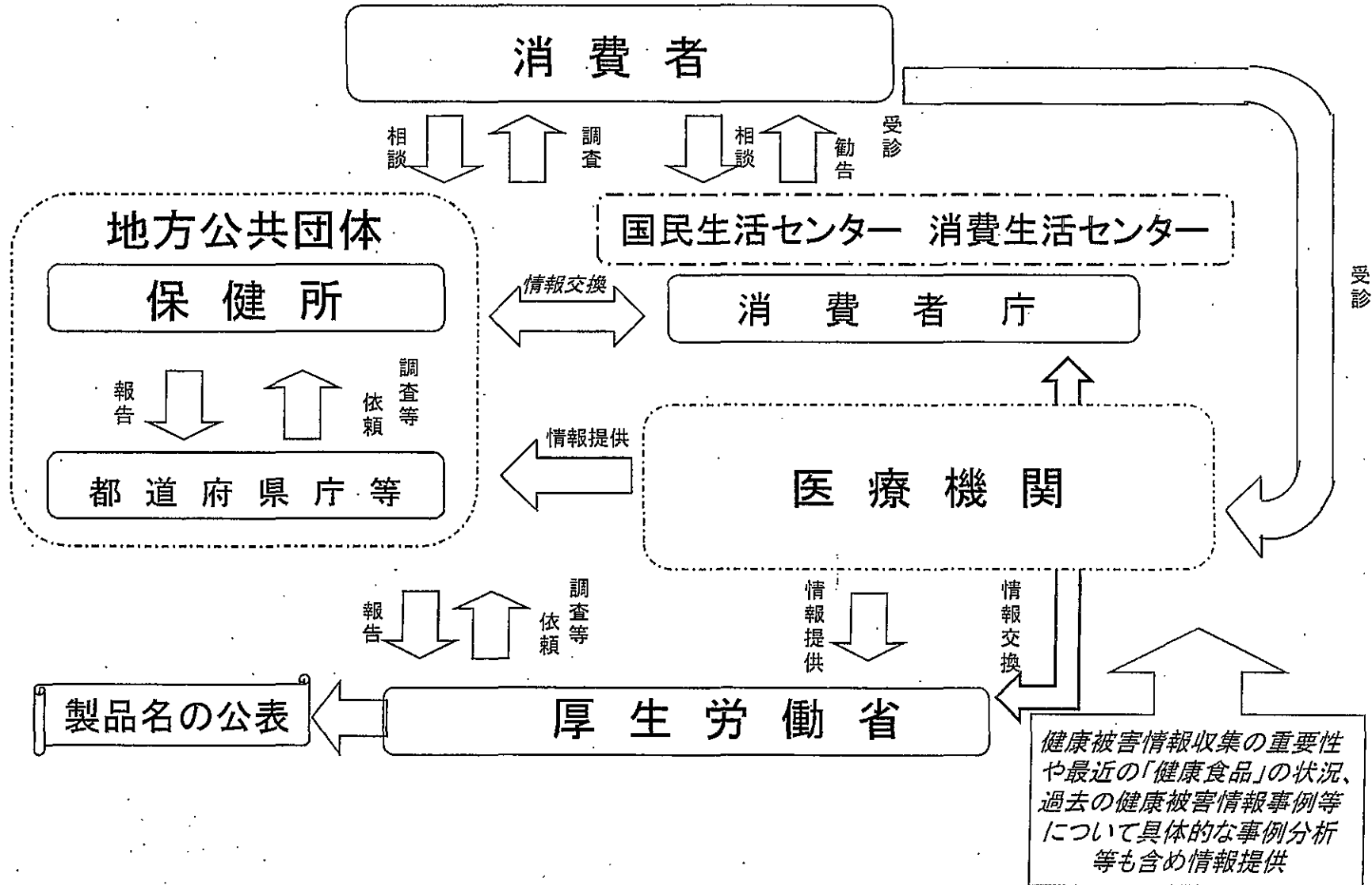
関係者に対する周知、情報交換等を通じて認証協議会の活動を支援



※原材料の安全性、GMPによる安全性

健康食品による被害情報の収集及び処理体制の強化

「健康食品」に起因する健康被害情報の収集は、被害の拡大防止や再発防止のために有効であり、より積極的な情報収集に努めるべき



消費者に対する普及啓発

「健康食品」に関する誤った情報や過大な期待が見られる中で、健康食品の安全性確保や「健康食品」一般に関する正しい知識の普及啓発に努めることが重要

製造事業者による安全性に関する情報提供

- ・製品の原材料の安全性確保や製造工程管理の適切さに関する情報提供
- ・成分表示や摂取目安量、注意喚起表示の適正化

「健康食品」一般に関する知識の普及啓発

- ・消費者に対し、「健康食品」に含まれる成分の特徴、その必要性、使用目的、摂取方法等について正しい情報を提供するため、アドバイザースタッフの養成課程や活動のあり方に関し一定の水準を確保できるよう、養成団体と連携して取組を進める。

遺伝子組換え食品等の安全性審査の法的位置づけ

食品衛生法 第11条(食品等の規格及び基準)

※ 規格・基準に合わないものの輸入、販売等禁止

告示 食品、添加物等の規格基準

成分規格 ※ 安全性審査を
経たものでなければならない

製造基準 ※ 基準に適合した
方法で行わなければならない

告示 安全性審査手続

※ 安全性審査の手続、資料

告示 製造基準

※ 適合確認の手続

※ 製造所の施設設備基準

食品安全委員会決定;安全性評価基準

遺伝子組換え食品等の安全性審査の手続きフロー

